

実践例 日光市立大室小学校

教科・科目等 図画工作科（3学年 22名） ※2時間で実施

本時の目標

友だちとアイデアを出し合いながら、作ることを楽しむことができる。

育てたい資質・能力等

個々の作品から、互いのよさに気づき、尊重し合い、共に考えることができる。（感受性）

教材 ・粘土 ・粘土版 ・ワークシート ・タブレット

展開

- 写真を見て、一人一人の作品をつなげて作る「粘土ランド」をイメージする。
- にぎる、ひねる、積み上げる、つなげるなど、粘土のできることを生かして立体的な作品を個人で作る。
- 友達が作った作品のよいところを見つけ、伝え合う。
- グループごとに、一人一人の作品をどのようにつなげていくかアイデアを出し合う。
- 作品を仕上げ、グループごとに作品名を決める。
- 「粘土ランド」を発表する。



児童の作品

授業者の感想

- ・一人一人が主役であることを確認することで、友達の作品に共感する姿勢を高めることができた。
- ・友達の作品のよさに気づき、そのよさを生かしてどのように作品をつなげていくかを考える姿が見られた。